

2009年2月19日

各位

会社名 スミダコーポレーション株式会社  
 代表者名 代表執行役 CEO 八幡 滋行  
 (コード 6817 東証第一部)  
 問合せ先 コーポレートオフィス 藤 縄 徹  
 オフィサー  
 (TEL. 03-3272-7801)

## 2008年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ

(通期および第4四半期)

当社は、2008年10月28日公表の2008年12月期(2008年1月1日～12月31日)の通期および第4四半期の連結業績予想を修正いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。なお、第4四半期配当予想は変更せず、一株当たり10円お支払いする予定です。

記

### 1. 業績予想の修正

2008年12月期(2008年1月1日～12月31日)の通期および第4四半期連結業績予想を、下表の通りに修正いたします。

#### (1) 通期連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期 純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円)
前回予想 (A) (2008年10月28日発表)	58,000	3,430	2,450	1,130	58.81
今回予想 (B) (2009年2月19日発表)	55,734	2,160	△140	△5,740	△298.76
増減額 (B-A)	△2,266	△1,270	△2,590	△6,870	△357.57
増減率	△3.9%	△37.0%	-	-	-

#### (2) 第4四半期連結業績予想

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期 純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
前回予想 (A) (2008年10月28日発表)	13,000	525	255	115	5.99
今回予想 (B) (2009年2月19日発表)	10,719	△740	△2,340	△6,760	△351.85
増減額 (B-A)	△2,281	△1,265	△2,595	△6,875	△357.83
増減率	△17.5%	-	-	-	-

---

## 2. 修正の理由

米国で発生した金融危機は实体经济に急速に波及し、第4四半期(2008年10月1日~12月31日)には世界経済全体で需要、生産が一気に落ち込み、電機・自動車関連の市場環境は急激に悪化しました。こうした中で電子部品への需要も大幅に減退し、更に急激な為替変動(円高:特に対ユーロ)が進行したこともあり、当社グループの業績も特に第4四半期以降、コンシューマーエレクトロニクス、オートモーティブ、パワーエレクトロニクス全ての事業分野で大きく落ち込みました。

その結果、2008年12月期 通期の連結売上高は前回予想比微減にとどまる一方、営業損益は前回予想比大幅に減少します。ただし1988年の上場以来続く営業黒字は堅持する見込みです。

また、現下の厳しい経済状況は当面続くと見られるため、大胆な構造改革を速やかに実施する必要があると判断し構造改革費用を計上するほか、株式市場の低迷による投資有価証券評価損の計上等により、4,000百万円の特別損益を計上する予定であり、通期の連結当期純損益は5,740百万円の損失となる見込みです。尚、2008年度通期及び第4四半期の連結業績については、2009年2月24日に発表する予定です。

## 3. 特別損益の計上について

2008年12月期(2008年1月1日~12月31日)に計上する特別損益4,000百万円の主な内容は次の通りです。

### (1) 構造改革費用

#### ①人員合理化(1,900百万円)

受注の落ち込みに対応した人員の適正化を図るため、人員削減を実施しており、これに係る費用を計上します。人員の合理化により、2009年12月期においては2,000百万円の費用の削減効果を見込んでおります。

#### ②子会社の清算に係る費用(240百万円)

北米事業の統合・清算に係る費用を計上します。これにより2009年12月期において200百万円の費用の削減効果を見込んでおります。

#### ③LCM事業の終結に係る費用(180百万円)

事業終結により、経営資源を他分野に振り向けることから2009年12月期において180百万円の費用の削減効果を見込んでおります。

### (2) 投資有価証券評価損(400百万円)

当社が保有する投資有価証券のうち、時価が著しく下落した銘柄について2008年12月期末において、投資有価証券評価損を計上します。なお、有価証券の評価方式は、期末においては切り放し法、第1四半期~第3四半期においては洗替え法を採用しております。

以上